令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第2学年	類型	I型
単位数	2単位	教科書	新数学Ⅱ（東京書籍）				
補助教材	ニューファースト 新数学Ⅱ（東京書籍）						

学習目標	方程式・式と証明，図形と方程式，及び三角関数の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	1章 方程式・式と証明 1節 式の計算	3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し，二項定理をパスカルの三角形と関連づけて学ぶ。 整式の除法では整式と商・余りの関係を理解する。 2次方程式の解の範囲を複素数まで拡張し，判別式や解と係数の関係への関心を深める。 等式や不等式が成り立つことを証明できるようにし，論証についての理解を深める。	中間考査
	5月	2節 2次方程式		
	6月	3節 高次方程式		期末考査
	7月	4章 式と証明		
	8月	2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式		
9月	2節 円の方程式			
10月	3節 軌跡と領域	期末考査		
11月	3章 三角関数 1節 三角関数			
12月	2節 加法定理		一般角および弧度法を学習し，三角関数の基本性質・相互関係を理解し，グラフをかけるようにする。 加法定理から2倍角の公式や半角の公式を導き，三角関数の合成も利用できるようにする。	学年末考査
1月	2節 加法定理			
2月	3月			

学習の方法	日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。単に公式を覚えて解くものではありません。なぜこのような解法になるのか、自分の力で説明できるかなど、数学的な考え方を身に付けることが大切です。日常生活の中で起こる数学的な考え方に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に取り組む態度	④	⑤
		基本的な概念，原理・法則，用語・記号などの知識とともに，事象を数学的に表現・処理し，推論する技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。	
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。				